

2025 年



沖縄県病院薬剤師会

第 54 回 通常総会

令和 7 年 6 月 7 日(土)

15:00~16:00

ダブルツリーbyヒルトン 那覇首里城

目 次

会次第	…P.2
＜報告事項＞	
令和 6 年度 事業報告	
Ⅰ. 令和 6 年度 沖縄県病院薬剤師会 第 53 回通常総会	…P.3
Ⅱ. 第 6 回 沖縄県病院薬剤師会学術研究発表会	…P.3
Ⅲ. 令和 6 年度 薬学部長期実務実習生合同発表会	…P.4
Ⅳ. 令和 6 年度 新任・新人薬剤師研修会	…P.4
Ⅴ. 学術講演会（研修会）	…P.4
Ⅵ. リクルートブース出展報告	…P.5
Ⅶ. 分科会・委員会・WG 活動報告	…P.5
Ⅷ. その他	…P.12
令和 6 年度 一般会計決算報告	…P.13
令和 6 年度 会計監査報告書	…P.14
＜議案事項＞	
令和 7 年度 事業計画案	…P.15
令和 7 年度 一般会計予算案	…P.20
（資料 1） 令和 7 年度 沖縄県病院薬剤師会 役員（案）	…P.21
（資料 2） 沖縄県病院薬剤師会 会則	…P.23
（資料 3） 各分科会、委員会、ワーキング活動費規約	…P.26

会 次 第

令和 7 年度 沖縄県病院薬剤師会 第 54 回通常総会

日 時 令和 7 年 6 月 7 日（土曜日） 15：00～16：00

会 場 ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城 （現地開催）

司 会 ： 理事 浜元 善仁

1. 開会の辞 理事 永井 賢作

2. 会長挨拶 会長 中村 克徳

3. 議 事

1) 報告事項

第一号 令和 6 年度 事業報告 副会長 姫野 耕一

第二号 // 分科会・WG・委員会 活動報告 各責任者

第三号 その他

第四号 令和 6 年度 一般会計決算報告 事務局 諸見 牧子

第五号 // 会計監査報告 監 事 入月 健

2) 議案事項

第一号 令和 7 年度 事業計画（案） 副会長 姫野 耕一

第二号 // 一般会計予算（案） 事務局 諸見 牧子

第三号 その他

4. 閉会の辞 理事 國分 千代

令和 6 年度事業報告

I. 令和 6 年度 沖縄県病院薬剤師会 第 53 回通常総会

日 時 令和 6 年 6 月 1 日（土曜日） 15：30～16：30

会 場 オリオンホテル那覇 + WEB （ハイブリッド開催）

司 会 ： 理事 山城 武志

1. 開会の辞 理事 諸見 牧子

2. 会長挨拶 会長 中村 克徳

3. 議 事

1) 報告事項

第一号 令和 5 年度 事業報告 副会長 姫野 耕一

第二号 // 決算報告 事務局 諸見 牧子

第三号 // 監査報告 監 事 徳嶺 恵子

第四号 // 分科会・WG・委員会 活動報告 各責任者

第五号 その他

2) 議案事項

第一号 令和 6 年度 事業計画（案） 副会長 姫野 耕一

第二号 // 一般会計予算（案） 事務局 諸見 牧子

第三号 その他

4. 閉会の辞 理事 上地 美奈子

II. 第 6 回 沖縄県病院薬剤師会学術研究発表会

日 時 令和 6 年 6 月 1 日（土） 16：45～17：45

《プログラム》

■座長 中部協同病院 薬局長 入月 健先生

①16:45～17:00

『当院における外来腫瘍化学療法診療科に関連する薬剤師の取り組み』

演者：浦添総合病院薬剤部 糸満 盛尚先生

②17:00～17:15

『外来透析患者におけるロキサデュスタット内服中の甲状腺機能測定状況』

演者：中頭病院薬剤部 植田 奈々先生

③17:15～17:30

『沖縄県内ホメピゾールの入手困難に伴い血液透析で対応したエチレングリコール中毒の一例』

演者：友愛医療センター薬剤科 山口 義樹先生

④17:30～17:45

『当院における抗 TNF- α 抗体製剤を例としたバイオシミラー使用推進の取り組み』

演者：琉球大学病院薬剤部 大嶺 菜先生

Ⅲ. 令和 6 年度 薬学部長期実務実習生合同発表会

- 1) 第 2 期 (2024/5/20～8/4)
7 月 26 日 (金) 【WEB 形式】
- 2) 第 3 期 (2024/8/19～11/3)
10 月 18 日 (金) 【WEB 形式】
- 3) 第 4 期 (2024/11/18～2025/2/9)
1 月 31 日 (金) 【WEB 形式】

※詳細は『実務実習委員会 活動報告 (P.9)』を参照

Ⅳ. 令和 6 年度 新任・新人薬剤師研修会 プログラム

会期：令和 6 年 7 月 21 日 (日) 13:00～17:20

場所：沖縄県薬剤師会館 及び WEB 配信

<研修会プログラム>

- 医薬品情報業務について 13:10～14:10 薬事情報委員会 石井 秀典
- 薬歴の書き方について 14:10～15:10 医療保険委員会 喜屋武 芳美
- 疑義照会について 15:20～16:20 学術研修委員会 副委員長 中尾 滋久
- 学校薬剤師部会について 16:20～16:30 学校薬剤師部会 部会長 新垣 紀子
- 女性薬剤師部会について 16:30～16:40 女性薬剤師部会 部会長 草壁 瑞恵
- 病院薬剤師部会について 16:40～16:50 学術研修委員会 委員長 潮平 英郎
- 行政薬剤師部会について 16:50～17:00 行政薬剤師部会 部会長 中村 章弘
- 卸勤務薬剤師部会について 17:00～17:10 卸勤務薬剤師部会 代理理事 鈴鹿 玲子
- 青年薬剤師部会について 17:10～17:20 青年薬剤師部会 部会長 喜友名 朝史

Ⅴ. 学術講演会 (研修会)

- | | |
|------------------|---|
| 2025 年 3 月 11 日 | 県内でつなぐ疼痛治療 ～がんの痛み～ |
| 2025 年 3 月 9 日 | 令和 6 年地域医療提供体制対策委員会主催講演会 |
| 2025 年 3 月 6 日 | 疼痛診療セミナー in 沖縄 |
| 2025 年 2 月 21 日 | ちゅら海腎と薬剤研究会 |
| 2025 年 2 月 21 日 | 緩和ケア アドバンスト・セミナー |
| 2025 年 2 月 19 日 | 第 7 回 沖縄県 循環器専門 臨床薬剤師カンファランス |
| 2025 年 2 月 16 日 | 2024 年度 薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会
徳田安春先生 特別研修会 |
| 2025 年 1 月 20 日 | OKINAWA Insomnia Web seminar |
| 2025 年 1 月 14 日 | MINNEBRO Topics ～resistant hypertension～ |
| 2024 年 12 月 8 日 | 令和 6 年度 第 1 回 沖縄 CDE 会 講演会 |
| 2024 年 11 月 24 日 | 第 37 回沖縄県薬剤師会学術大会 |

2024 年 11 月 16 日	R6 年度第 2 回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会
2024 年 11 月 5 日	沖縄県民へ届ける HaaS ～Healthcare as a Service～
2024 年 11 月 2 日	第 36 回沖縄県感染管理研究会
2024 年 10 月 25 日	薬剤師のための災害医療スキルアップセミナー② in 沖縄
2024 年 10 月 16 日	第 2 回 沖縄県 心不全療養指導士の会
2024 年 10 月 6 日	2024 年度 薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会
2024 年 9 月 29 日	2024 年度 薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会
2024 年 9 月 27 日	第 4 回離島肺がん Seminar
2024 年 9 月 17 日	感染症治療 UP TO DATE
2024 年 8 月 30 日	第 38 回 沖縄乳癌研究会
2024 年 8 月 23 日	第2回沖縄県の AMR を考える会
2024 年 8 月 9 日	令和6年度第1回沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会
2024 年 8 月 8 日	第 46 回 薬タッチャーの会
2024 年 8 月 8 日	GIP/GLP1 Clinical Seminar
2024 年 8 月 2 日	緩和ケア アドバンスト・セミナー
2024 年 7 月 28 日	2024 年度第 1 回フィジカルアセスメント研修会
2024 年 7 月 21 日	令和6年度新任・新人薬剤師研修会
2024 年 6 月 25 日	第 10 回 薬剤師スキルアップセミナー
2024 年 6 月 20 日	がんサポーターシップケアセミナー2024
2024 年 6 月 1 日	第 6 回 沖縄県病院薬剤師会学術研究発表会
2024 年 6 月 1 日	沖縄県病院薬剤師会講演会
2024 年 5 月 31 日	地域で支える運動器疾患 Web Seminar
2024 年 5 月 28 日	Breast Cancer Meeting in 沖縄 ～ トラスツズマブ デルクステカンのリスク・ベネフィットを考える ～
2024 年 5 月 25 日	沖縄セーフティケモセラピーセミナー
2024 年 4 月 25 日	中部地区薬剤師会研修会

合計 36 講演会

Ⅵ. リクルートブース出展報告

2024 年 11 月 2～4 日	第 34 回日本医療薬学会年会（千葉）	ブース来場者：207 名
2025 年 3 月 27～29 日	日本薬学会第 145 回年会（福岡）	ブース来場者：116 名

Ⅶ. 分科会・委員会・WG 活動報告

1. がん化学療法分科会

責任者 琉球大学病院 鈴木毅

報告なし

2. 感染症分科会

責任者 友愛医療センター 小杉 卓大

1) 分科会開催

集合しての現地開催、Web ミーティングでの開催はなし。

分科会メーリングリストでは講演会などの情報共有を適宜行った。

2) 沖縄県病院薬剤師会感染症分科会

感染症ケースカンファレンス

開催日 2025 年 2 月 25 日

開催場所 友愛医療センター

開催方法 現地*県立宮古病院/県立八重山病院のみ Web 配信

司会 浜元 善仁先生 (浦添総合病院 薬剤部)

入月健先生 (中部協同病院 薬局)

小杉卓大先生 (友愛医療センター 薬剤科)

演者 保良 結先生 (沖縄協同病院薬局)

化学療法 4 日後に好中球減少症を認めた症例

症例解説 戸高 貴文先生 (沖縄協同病院 総合内科)

参加者 30 名

3. 緩和ケア分科会

責任者 中頭病院 島袋 朝太郎

<令和 6 年度 活動報告>

・ 鹿児島県病院薬剤師会、始良地区薬剤師会からの依頼で講演会を開催

日時：2024 年 11 月 21 日 19:00~20:45

会場：オンライン開催

講演：現場で使えるオピオイド鎮痛薬の基本的な使い方～オピオイドスイッチ計算方法～

講師：島袋朝太郎 (中頭病院)

・ 緩和ケア領域に関する研修会 (緩和薬物療法認定薬剤師単位付)：6 件開催 (前年度 4 件)

→緩和薬物療法認定薬剤師の単位取得：6 単位 (前年度 5 単位)

【1】緩和ケア アドバンスト・セミナー

日時：2024 年 8 月 2 日 19:00~20:30

会場：沖縄県医師会館 3F ホール (ハイブリッド開催)

緩和薬物療法認定単位：1 単位

【2】県内でつなぐ「痛み」治療～より良い治療と医療連携～

日時：2024 年 9 月 25 日 19:00~20:10

会場：ホテルコレクティブ 2 階中宴会場 AB (ハイブリッド開催)

緩和薬物療法認定単位：1 単位

【3】沖縄緩和ケア研究会 第 4 回学術集会

日時：2024年11月4日 10:00～16:00

会場：琉球大学医学部2F 大講義室

緩和薬物療法認定単位：2 単位

【4】緩和ケア アドバンスト・セミナー

日時：2025年2月21日 19:00～20:15

会場：沖縄県医師会館 3Fホール（ハイブリッド開催）

緩和薬物療法認定単位：0.5 単位

【5】県内でつなぐ疼痛治療～がんの痛み～

日時：2025年3月11日 19:00～20:15

会場：沖縄県薬剤師会館（ハイブリット開催）

緩和薬物療法認定単位：0.5 単位

【6】県内でつなぐ疼痛治療～がんの痛み～

日時：2025年3月13日 19:00～20:30

会場：那覇市医師会館 4Fホール（ハイブリット開催）

緩和薬物療法認定単位：1 単位

＜今後の展望と課題＞

- ・現在、緩和薬物療法認定薬剤師が県内4名在籍（全て病院薬剤師）

今年度より認定資格取得の要件が緩和、認定資格を目指す若手薬剤師を増やすためにも、分科会メンバーの募集をかけていく予定（現在5名）

- ・分科会メンバーによる緩和ケア情報交換会の開催
- ・緩和薬物療法認定薬剤師の単位が、年間5単位以上を取得できる勉強会の開催
- ・緩和ケア分科会が主催とする保健薬局薬剤師と協同した勉強会の開催
（2025年8月22日開催予定／県外より講師派遣）

4. 糖尿病分科会

責任者 琉球大学病院 外間登

2024年度 糖尿病分科会活動報告

- ・分科会ミーティング

2024年度 第1回分科会ミーティング

2024年8月26日 13時～ 琉球大学病院

テーマ：糖尿病サマーキャンプ企画について

2024年度 第2回分科会ミーティング

2025年1月24日 19時～ ホテルコレクティブ

テーマ：近況報告

- ・講演会の共催

第15回 沖縄県糖尿病週間学術講演会

2024年12月6日 19:00～20:30 ホテル コレクティブ 2F 「中宴会場」

令和6年度 第1回 沖縄 CDE 会 講演会

2024年 12月 8日 12:00~14:25 P s SQUARE 5 階 D 会議室+Zoom 配信

5. 妊婦・授乳婦分科会

責任者 琉球大学病院 伊差川サヤカ

なし

6. NST 分科会

責任者 琉球大学病院 橋田律

なし

7. 精神科分科会

責任者 新垣病院 城間千賀子

なし

8. HIV 分科会

責任者 琉球大学病院 諸見牧子

2024 度 HIV 分科会活動報告

○分科会活動

2024 年度は分科会企画の勉強会の開催ができなかった

他団体と共催した勉強会

第 15 回沖縄 HIV 臨床カンファレンス

【日時】2054 年 1 月 25 日 土 1300~17:00

【Ⅰ部】各職種別分科会

薬剤部門

「高齢者の薬剤管理について」参加者によるディスカッション

【Ⅱ部】特別講演

講演① 「ACP の経験を踏まえて改めて考える HIV 感染症看護師の役割」

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 副支援調整職 杉野 祐子先生

講演② 「ソーシャルワーカーが関わるアドバンス・ケア・プランニングへの取り組み」

広島大学病院エイズ医療対策室ソーシャルワーカー 重信 英子先生

○専門薬剤師・薬物療法認定薬剤師取得状況

HIV 感染症薬物療法認定薬剤師

	病院薬剤師	保険薬局薬剤師	その他
2013 年度	3 名	1 名	
2014 年度	5 名		

2015 年度	3 名	1 名
2016 年度	3 名	1 名
2017 年度	3 名	1 名
2018 年度	3 名	1 名
2019 年度	4 名	
2020 年度	2 名	1 名
2021 年度	3 名	1 名
2022 年度	3 名	1 名
2023 年度	4 名	1 名
2024 年度	3 名	1 名

琉大病院は「HIV 感染症薬物療法認定薬剤師研修」に認定されている。
昨年度は 1 名が認定薬剤師を取得した。

○今後の課題

HIV 感染症薬物療法認定薬剤師の増員に努める。
勉強会を企画する。

9. 実務実習委員会 活動報告

責任者 大浜第二病院 姫野さやか

合同発表会開催

●開催日時：

第 2 期 2024 年 7 月 26 日（金）14:00～17:00

第 3 期 2024 年 10 月 18 日（金）10:00～13:00/13:00～15:00

第 4 期 2025 年 1 月 31 日（金）14:00～15:00

●実務実習生参加人数：2 期 17 名、3 期 24 名、4 期 5 名

●実務実習生所属大学：13 大学

●実習病院指導施設：11 施設

●発表時間：5 分（＋質疑応答：2 分）

・開催の挨拶

第 2 期 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 薬局長 徳嶺恵子先生

第 3 期 浦添総合病院 川上広瀬先生

第 4 期 中頭病院 島袋朝太郎先生

・閉会の挨拶

第 2 期 那覇市立病院 薬剤部長 金城雄一先生

第 3 期 中部徳洲会病院 薬剤部長 喜多洋嗣先生

第 4 期 沖縄協同病院 前里佐弥香先生

※第 2 期は実習学生 24 名と多く、午前の部と午後の部に分けて発表会を開催した。

●定例会開催（Web 開催）

第 1 回 2024 年 5 月 16 日（木）議事録：琉球大学病院

第 2 回 2024 年 9 月 24 日（火）議事録：友愛医療センター

第 3 回 2025 年 1 月 8 日（水）議事録：中頭病院

●病薬会誌 原稿担当 中頭病院 翁長

【総括】

2024 年度は合計 46 名の薬学生が沖縄県の各病院にて実務実習を行った。

2023 年度から視聴して最も良かったと思った発表を学生全員の投票に基づき【賞】を贈っている。学生からは、貰えたらとてもやる気が出る・嬉しいとの感想をいただいている。

今後もこの企画を継続していきたい。また、急性期病院と慢性期病院の半日程度の連携実習を 2018 年から継続して実施しているが、2024 年度は WEB を含めこれまでで最も多い 5 施設 22 名の学生が参加した。学生アンケートから、「慢性期病院を初めて知った」や、「急性期病院から転院後の患者の症例を通して病院間の連携の大切さを知った」との感想があり、地域医療構想・地域医療連携を学ぶための一助となっている。

＜実務実習委員会メンバー＞

委員長：大浜第二病院 姫野さやか

副委員長：琉球大学病院 諸見牧子

委員：

中頭病院：翁長卓司

那覇市立病院：永井賢作 山里将士

琉球大学病院：上原涉 幸地にいな 古波蔵直子 石井岳夫

友愛医療センター：三田井菜菜子

10. 広報委員会 活動報告

責任者 那覇市立病院 戸北浩志

1) 広報委員会開催

2024 年 7 月 10 日（Web 開催） 今年の役割を振り分け

参加施設：那覇市立病院、琉球大学病院、南部医療センター、（友愛医療センター都合合わず不参加）

2) 活動報告

病薬会誌「おきなわ」No.26 発行

巻頭言 那覇市立病院 薬剤科長 金城雄一先生

特集

- ・R6 能登半島地震の災害派遣活動報告

琉球大学病院 石井岳夫/県立宮古病院 肥後華子 先生

- ・HIV 分科会 活動について 琉球大学病院 薬剤部 大田久美子先生
- ・那覇市立病院 心不全チームの紹介 那覇市立病院 薬剤科 中村沙希先生
- ・10years 友愛医療センター 薬剤科 小杉卓大先生

会員報告

- ・第6回沖縄県病院薬剤師会学術研究発表会を主催して
友愛医療センター 薬剤科 小杉卓大先生
- ・2024年度薬学部長期実務実習生リモート合同発表会を開催して
中頭病院 薬剤部 翁長卓司先生
- ・沖縄県病院薬剤師会のリクルートブース出展について
琉球大学病院 薬剤部 安里さくら先生
- 施設紹介 浦添総合病院薬剤部紹介 薬剤部 長嶺桃子先生
- 新人紹介、役員・賛助会員・会員紹介
- 最終ページに県病薬HPの会員パスワードを記載

11. フィジカルアセスメントWG 活動報告

責任者 大浜第一病院 姫野耕一

目的：

「フィジカルアセスメントの知識・技術を習得し、臨床現場での安全で効果的な薬物療法を支援する」

1. 研修会

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター

1 日時：2024年7月28日（日） 9：30～12：30

研修内容：フィジカルアセスメントの基礎

講師：社会医療法人敬愛会 中頭病院 薬剤部 山本 紗織

2 日時：2024年9月29日（日） 9：30～12：30

研修内容：意識・アナフィラキシー

講師：ぴいびる薬局 経塚店 中尾 滋久

3 日時：2024年10月9日（日） 9：30～12：30

研修内容：肺炎・喘息

講師：沖縄県立中部病院 薬剤部 筋 由依

2. 特別研修会

日時：2025年2月16日（日） 9：30～12：30

場所：沖縄県薬剤師会 2F ホール

演題：「薬剤師のための実践フィジカルアセスメント」

講師：群星沖縄臨床研修センター長 徳田安春

3. WG 研修会開催打ち合わせ会議

開催日：2024年5月9日（木）19：30～20：40

開催形式：リモート会議

4. 総括

2024年度は、5年ぶりの開催となった。フィジカルアセスメント研修会は、毎回5回シリーズで開催し

ていたが、琉大病院移転に伴い「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」も移転し、4・5回の研修会が開催できなかった。特別研修会は、場所を変え開催することができた。

12. 骨粗鬆症 WG 活動報告

責任者 沖縄赤十字病院 山崎みわ子

なし

13. 周術期 WG 活動報告

責任者 友愛医療センター 小杉卓大

なし

14. 災害 WG 活動報告

責任者 琉球大学病院 石井岳夫

- ・2024年5月20日(月) R6年度 第1回 災害WG リモート会議 (Teams 会議)
- ・2024年7月～ 災害WG メンバーの Teams グループを作成し、情報共有ツールとして使用開始
- ・災害薬事コーディネーター養成研修会への参加 (5名)

日 時：令和7年3月 16 日(日) 9：00～17：00

会 場：沖縄県薬剤師会館ホール

参加者：

長田麗裕 (沖縄県立北部病院)

佐藤隆 (かりゆし病院)

佐久川卓 (那覇市立病院)

坂口結斗 (中部徳洲会病院)

姫野耕一 (大浜第一病院)

2023 年度の受講と合わせて 9 名が受講済みとなった

※災害 WG メンバー募集中です！2025 年 6 月現在、18 名

※WG メンバーから優先して災害研修の受講支援などします (受講費補助あり)

※災害登録派遣薬剤師：12 名 (資料 P.22) ⇐2 年間の任期更新制

15. 心不全チーム WG

責任者 那覇市立病院 中村 沙希

キックオフミーティングを予定していたが、開催できず。次年度に持ち越し。

Ⅷ. その他

令和6年度 一般会計決算報告書

令和6年度 一般会計決算報告

自 2024年4月 1日
至 2025年3月31日

沖縄県病院薬剤師会

1. 収入の部

	科目	R6年度予算案	R6年度決算額	備 考
1	会費	5,500,000	1,075,160	R6年度会費徴収者 4名直接振込、520名県病薬会費のみ(システム利用)
2	賛助会費	600,000	630,000	賛助会員 20社(1社より2年度分入金あり)
3	病診部会費等	300,000	300,000	病院診療部会費
4	日病薬交付金	680,000	666,400	日病薬より還付 490×1,360=664,000円
5	実務実習事務経費(寄付金)	0	100,000	
6	雑収入	150,000	45,316	利息、勉強会専門単位
7	繰越金	11,429,888	11,429,888	R5年度繰越金
	合計	18,659,888	14,246,764	R5年度繰り越し+R6年度収入

単年度収入

2,816,876

2. 支出の部

	科目	R6年度予算案	R6年度決算額	備 考
1	管理費	1,160,000	1,003,271	
	①総会費	500,000	513,366	総会会場費、交通費
	②役員会費	150,000	151,737	役員会交通費・通信費
	③委員会費	30,000	0	分科会会議費
	④連絡会議費	400,000	276,935	九州山口ブロック長会議、代議員、地方連絡協議会
	⑤事務費	80,000	61,233	庶務・会計、監事手当
2	事業費	2,050,000	2,129,429	
	①研究会費	600,000	145,620	講演会開催費用
	②研修会費	300,000	434,525	日病薬認定代、学会参加費、ワークショップ参加費
	③学術費	300,000	222,000	発表奨励金
	④通信印刷費	450,000	450,654	病薬会誌印刷、郵送料、HP管理費、切手
	⑤備品費	100,000	228,349	パソコン
	⑥渉外費	300,000	648,281	広告・リクルートブース・共催金
3	日病薬会費	4,400,000	32,975	日病薬会費8,000円×4名+手数料(県病薬にて支払い)
4	予備費	100,000	25,325	合同祝賀会
	支出合計	7,710,000	3,191,000	
	収入-支出	10,949,888	11,055,764	
5	繰越金	10,949,888	11,055,764	R7年度繰り越し額
	合計	18,659,888	14,246,764	R6年度支出+R7年度繰り越し

単年度収支

-374,124 備考: 単年度収入-単年度支出

令和6年度 会計監査報告書

報告

会 計 監 査 報 告 書

令和6年度会計監査について、下記のとおり監査を行ったところ

決算は正確であることを認めます。

記

1. 会計帳簿
2. 証票類
3. 担当者の説明

令和7年5月13日

沖縄県病院薬剤師会

監事

入月 健



監事

城間 千賀子



令和 7 年度事業計画案

○ 令和 7 年度の事業項目

- I. 組織と役員会の機能強化
- II. 学術・教育研修活動の推進
- III. 認定・専門薬剤師育成
- IV. 薬業連携の強化・拡大
- V. 学会、学術大会に対する協力
- VI. 病薬会誌発行とホームページの活用
- VII. 新規事業への取り組み
- VIII. その他

I. 組織と役員会の強化拡大

1. 沖縄県病院薬剤師会の会員数について

6 年制薬剤師が既に県内各施設で活躍しており、病棟薬剤師業務実施加算、ふるさと実習の拡大などにも取り組むとともに、今後も積極的に病院薬剤師会の会員増大に努める。令和 4 年度より長く目標としていた正会員 500 名を達成しているが、さらなる会員拡大に努めていく。クラウド会員管理システムの稼働後に会員数の減少がみられるため、入会手続きの漏れが無いよう周知していく。賛助会員数が年々減少傾向であるため、協力依頼を継続していく。

※ 会員数の年度別推移

年度	正会員	特別会員	合計	賛助会員	名誉会員
H26	404	10	414	37	2
H27	407	9	416	42	1
H28	417	7	424	36	1
H29	413	5	418	32	1
H30	433	5	438	26	1
R1	430	6	436	27	1
R2	458	6	464	22	1
R3	477	9	486	24	2
R4	516	7	523	22	2
R5	526	10	536	25	2
R6	547	9	556	20	2
R7	530	8	538	募集中	2

2025.6.1 現在

1) 年会費 10,000 円

内訳

日本病院薬剤師会費 8,000 円

沖縄県病院薬剤師会会費 2,000 円

*任意加入として

日本病院薬剤師連盟会費 3,000 円

2) 会員のメリット

- ① 日本病院薬剤師会雑誌（JJSHP）が毎月送付
- ② 病院薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 病院薬剤師会主催・共催・講演の研修会への参加
- ④ 日本病院薬剤師会の生涯教育認定取得が取得可能
また日病薬病院薬学認定薬剤師（CPC 認証）が取得可能
- ⑤ 日本病院薬剤師会の認定・専門薬剤師が取得可能
- ⑥ 日本病院薬剤師会、薬学教育協議会の認定実務実習指導薬剤師が取得可能

2. 沖縄県薬剤師会への入会促進（病院診療所部会）

1) 入会金 10,000 円

年会費 B 会員（薬局経営者および管理薬剤師以外の勤務薬剤師、病院薬剤師）
39,400 円（県薬剤師会 2,700 円×12 ヶ月＋日本薬剤師会会費 7,000 円）
但し、7 月までに一括納入の場合 36,700 円
また、10 月以降入会の場合に本薬剤師会会費が 3,500 円となります。

2) 会員のメリット

- ① 日本薬剤師会雑誌（JJPA）が毎月送付
- ② 薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 薬剤師会主催の研修会への無料参加（一部有料あり）
- ④ 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の申請が可能
- ⑤ 薬学教育協議会 認定実務実習指導薬剤師が取得可能

3. 日本病院薬剤師連盟への入会促進（年会費：3,000 円）

薬剤師の社会的（制度的）地位向上を促進するために、日本病院薬剤師連盟への入会を促進し体制を強化する。

4. 役員会活動の活性化

病院薬剤師会活動の強化拡大を図るため、役員 17 名体制で取り組んでいる。今後も会員数の増加に
取り組み、県病薬活動への若手薬剤師の積極的登用など、役員会の体制強化と活性化に努めたい。

Ⅱ. 学術・教育研修活動の推進

1. 学術講演会活動の推進

コロナ禍より WEB での研修会も定着したが、現地開催の研修会も増えつつある。分科会企画などの研修会も含め、活動の推進を図りたい。

2. 新任・新人薬剤師研修会の開催（県薬と共催）

病院勤務3年未満の薬剤師を対象に薬剤師としての病院薬局業務についての基礎的知識・技術の修得を目的として年1回開催する。

3. その他

次の委員会の県内担当者がいるので、関連活動については会員全員で協力する。

名称	責任者	責任者施設名	連絡先
実務実習委員会	姫野 さやか	大浜第二病院	098-851-0102
広報委員会	戸北 浩志	那覇市立病院	098-884-5111
学術研究発表会実行委員会	浜元 善仁	浦添総合病院	098-878-0231
中小病院担当者	姫野 耕一	大浜第一病院	098-866-5171
精神病院担当者	城間 千賀子	新垣病院	098-933-2756
介護保険対策担当者	入月 健	中部協同病院	098-938-8828
プレアボイド担当者	山内 祐子	琉球大学病院	098-895-3331
療養病床担当者	姫野 さやか	大浜第二病院	098-851-0103

Ⅲ. 認定・専門薬剤師育成

1. 認定・専門薬剤師講演会の開催

今年度も分科会を中心に認定・専門単位の取得が可能な研修会を積極的に企画していく。

2. 分科会等活動の促進

認定・専門薬剤師の育成を目的として以下の分科会を設置する。分科会は学会発表や論文投稿を目標として、研修会、研究発表会の開催を目指す。また分科会については会員のニーズを踏まえて新設や廃止も視野に含めて随時検討する。

分科会名	責任者	責任者施設名	連絡先
がん化学療法分科会	國場 訓	琉球大学病院	098-894-1669
感染症分科会	小杉 卓大	友愛医療センター	098-850-3811
緩和ケア分科会	島袋 朝太郎	中頭病院	098-939-1300
糖尿病分科会	外間 登	琉球大学病院	098-894-1669
妊婦・授乳婦分科会	伊差川 サヤカ	琉球大学病院	098-894-1669
NST分科会	橋田 律	琉球大学病院	098-894-1669

精神科分科会	城間 千賀子	新垣病院	098-933-2756
H I V分科会	諸見 牧子	琉球大学病院	098-894-1669

IV. 薬薬連携の強化・拡大

開局・病院勤務薬剤師相互の交流を図り、地域医療に貢献することを目的として薬薬連携の強化・拡大に努める。具体的には、新人薬剤師研修会や学術大会、フィジカルアセスメントWGなどの協同事業の継続、県薬剤師会との合同会議・研修会への参加、さらに在宅関連の無菌製剤などの研修施設として連携を強化したい。2021年度からは2施設で地域薬学ケア専門薬剤師制度研修も始まっている。また、日本臨床腫瘍薬学会のがん診療病院連携研修は現在3施設が研修施設となっている。

日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(基幹施設)：琉球大学病院、国立病院機構 沖縄病院

日本臨床腫瘍薬学会 がん診療病院連携研修施設：那覇市立病院、琉球大学病院、中頭病院

V. 学会・学術大会に対する協力

九州山口薬学大会、日本薬学会年会、日本医療薬学会年会、その他薬学関連学会への発表を促進し、県薬剤師会と協力しながら学術活動に力を入れていく。

VI. 会誌の発行、ホームページの充実と活用

広報委員会が中心となって病薬会誌「おきなわ」を発行する。また県病薬ホームページの充実に関しては、活動の広報強化の一環として、①病薬会誌のPDF掲載、②分科会活動を充実させるべく8分科会の活動報告を年度別に掲載している。

さらに今後は県病薬の活動をアピールできるよう会誌やホームページのさらなる充実を図りたい。2021年7月にホームページを新しくリニューアルしたが、さらなる情報発信につなげていきたい。

求人ページは、日病薬の求人サイトとの連携を行い、日病薬求人サイトへの登録をすることで、県病薬でも同じ内容が見られる仕組みに変更している。

VII. 新規事業への取り組み

1. フィジカルアセスメント普及の推進

県病薬会員のフィジカルアセスメントのスキル向上と普及を図り、さらには、臨床推論による患者安全に貢献するため、ワーキンググループ（WG）が平成24年から活動を開始している。昨年度もコロナ禍の影響により、多くのWG・研修会等の活動はできなかった。今年度は状況を判断しながら、開催の可能性を、WGで検討し、琉球大学クリニカルシミュレーションセンターや他の施設の利用を視野に入れ、WGのインストラクターを講師として、研修会を実施したい。

今年度は、医師や看護師による特別研修会が実施できるように計画する。

2. 実務実習合同発表会

平成 24 年から「実務実習生交流会」を開催しているが、これは薬学生や受け入れ施設の情報交換や懇親の場として企画したものである。平成 25 年度から「実務実習合同発表会」と名称を改め、今年度も各施設の実習生の発表を中心に開催する予定である。また今後も「ふるさと実習」を推進し、新コアカリの実施に伴い保険調剤薬局薬剤師との連携をはかりつつ、長期実務実習の充実に努めたい。令和 2 年度からは、リモート開催を開始しており、状況を鑑みながらではあるが、今後はハイブリッド開催や現地開催の開催も検討していきたい。

3. 新規事業の検討

平成 29 年度から新規事業として「第 1 回沖縄県病院薬剤師会学術研究発表会」を開催し、第 3 回まで行ったが、昨年度は九州山口薬学大会が沖縄で予定されていたため、開催は予定していなかった。2021 年度は医療薬学フォーラムを開催したため行わなかったが、以降再開し今年度で第 6 回目となる。

令和 4 年度に周術期 WG、骨粗鬆症 WG、災害 WG を立ち上げ、令和 5 年度には心不全チーム WG も作られ、随時メンバーを募集しているところである。

4. その他

各種認定・専門薬剤師制度の取得を見据えて、県外開催の学会における学会発表促進、論文投稿支援、奨励金の支給を継続して行う。また腎臓病薬物療法、小児薬物療法認定薬剤師制度など新たな認定制度についても、今後会員のニーズを見ながら検討する。

また、分科会、委員会、WG のそれぞれの責任者と役員等で、活動の具体的な方法などの情報共有を行う場を設け、活動の活性化を図る。

Ⅷ. その他

- ・日病薬病院薬学認定単位の参加登録方法の変更について

参加登録が個人で行う運用に変更となったため、研修システム（HOPESS）へのログイン方法の確認が必要であることを認識していただきたい。

- ・発表奨励金の受け取りについてのルールを設定。受け取りが不可能な先生には従来は無償で振り込みをしていたが、今後は振り込み代を差し引いた金額を振り込むこととする。

- ・役員会における交通費の見直し。役員会へ参加された際の交通費が、現地参加者とリモート参加者で同額であったため、差をつけることとする。

- ・各種委員会、WG 等の責任者の任期を定めることに決定した。役員改選と同じ期間での 2 年間の任期とするが、再任は妨げないこととする。

令和7年度 一般会計予算案

令和7年度 一般会計予算案

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

沖縄県病院薬剤師会

1. 収入の部

	科目	R6年度決算額	R7年度予算額	備 考
1	会費(県病薬のみ)	1,075,160	1,100,000	今年度会費徴収目標 550名
2	賛助会費	630,000	600,000	賛助会員 20社
3	病診部会費等	300,000	300,000	病院診療所部会費
4	日病薬交付金	666,400	680,000	日病薬還付金(早期一括支払7月末) 500名×1,360円
5	寄付金	100,000	0	
6	雑収入	45,316	50,000	講演会収入、広告費等、利息
7	繰越金	11,429,888	11,055,764	R6年度繰越金
	合計	14,246,764	13,785,764	

単年度収入予算

2,730,000

2. 支出の部

	科目	R6年度決算額	R7年度予算額	備 考
1	管理費	1,003,271	1,150,000	
	①総会費	513,366	600,000	総会会場費、交通費
	②役員会費	151,737	150,000	役員会交通費等
	③委員会費	0	20,000	分科会活動費、広報委員会費
	④連絡会議費	276,935	300,000	九州山口ブロック長会議、その他
	⑤事務費	61,233	80,000	事務経費、会計・監事手当、雑費等
2	事業費	2,129,429	2,330,000	
	①研究会費	145,620	1,000,000	分科会・委員会企画勉強会、フィジカル
	②研修会費	434,525	300,000	日病薬認定シール代、丸山大会、実習生合同発表会
	③学術費	222,000	300,000	発表奨励金、講師手当
	④通信印刷費	450,654	450,000	病薬会誌印刷、郵送料等、HP管理費
	⑤備品費	228,349	30,000	備品購入
	⑥渉外費	648,281	250,000	弔電・供花、広告、その他、リクルートブースへの参加
3	日病薬会費	32,975	0	システム利用のため
4	予備費	25,325	50,000	
	支出合計	3,191,000	3,530,000	
	収入-支出	11,055,764	10,255,764	
5	繰越金	11,055,764	10,255,764	
	合計	14,246,764	13,785,764	

単年度収支

-800,000

令和 7 年度 沖縄県病院薬剤師会 役員（案）

【 役 員 】

会 長	中村 克徳	琉球大学病院
副 会 長	石井 岳夫（事務局 庶務）	琉球大学病院
	國分 千代	友愛医療センター
	姫野 耕一	大浜第一病院
理 事	安座間 照子	中頭病院
	上地 美奈子	県立八重山病院
	喜多 洋嗣	中部徳洲会病院
	谷口 潤	国立病院機構 沖縄病院
	津波 美奈子	県立南部・こども医療センター
	友利 幹夫	県立中部病院
	永井 賢作	那覇市立病院
	浜元 善仁	浦添総合病院
	姫野 さやか	大浜第二病院
	諸見 牧子（事務局 会計）	琉球大学病院
	山城 武志	沖縄赤十字病院
監 事	城間 千賀子	新垣病院
	入月 健	中部協同病院
日病薬代議員	石井 岳夫	琉球大学病院
	國分 千代	友愛医療センター
補欠代議員	友利 幹夫	県立中部病院

（各項目 50 音順）

〔 委員会 〕

委員会名	責任者	所在施設名
1. 実務実習委員会	姫野 さやか	大浜第二病院
2. 広報委員会	戸北 浩志	那覇市立病院
3. 学術研究発表会実行委員会	浜元 善仁	浦添総合病院

〔 分科会 〕

分科会名	責任者	所在施設名
1. がん化学療法	國場 訓	琉球大学病院
2. 感染症	小杉 卓大	友愛医療センター

3. 緩和ケア	島袋 朝太郎	中頭病院
4. 糖尿病	外間 登	琉球大学病院
5. 妊婦・授乳婦	伊差川 サヤカ	琉球大学病院
6. NST	橋田 律	琉球大学病院
7. 精神科	城間 千賀子	新垣病院
8. HIV	諸見 牧子	琉球大学病院

〔 ワーキンググループ 〕

WG名	責任者	所在施設名
1. フィジカルアセスメント	姫野 耕一	大浜第一病院
2. 周術期	小杉 卓大	友愛医療センター
3. 骨粗鬆症	山崎 みわ子	沖縄赤十字病院
4. 災害	石井 岳夫	琉球大学病院
5. 心不全チーム	中村 沙希	那覇市立病院

〔 日本病院薬剤師会委員会の県内各担当者 〕

担当	責任者	所在施設名
1. 中小病院担当者	姫野 耕一	大浜第一病院
2. 精神病院担当者	城間 千賀子	新垣病院
3. 介護保険対策担当者	入月 健	中部協同病院
4. 療養病床担当者	姫野 さやか	大浜第二病院
5. プレアボイド担当者	山内 祐子	琉球大学病院

〔 災害登録派遣薬剤師 〕

登録年	氏 名	所属施設
2017 年以前～	石井 岳夫	琉球大学病院
2023 年～	金城 秀明	与那原中央病院
//	肥塚 華子	県立宮古病院
//	佐久川 卓	那覇市立病院
2024 年～	新垣 慎太郎	那覇市立病院
//	池上 幸恵	国立病院機構 沖縄病院
//	金城 元健	琉球大学病院
//	坂口 結斗	中部徳洲会病院
//	座波 克圭	県立北部病院
//	高屋敷 一也	平安病院
//	高良 龍	県立南部・こども医療センター
//	米城 和加奈	琉球大学病院

沖縄県病院薬剤師会 会則

第 1 章 総則

第 1 条 本会は沖縄県病院薬剤師会という。

第 2 条 本会は事務局を会長所在の病院におく。

第 2 章 目的及び事業

第 3 条 本会は病院、診療所に勤務する薬剤師の倫理的、学術的永準を高め、薬学特に医療薬学及び病院薬局業務一般の進歩発達を図ることによって、地域社会における国民の厚生福祉の増進に寄与すると共に会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第 4 条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 病院又は診療所薬剤師の学識及び技能の向上に関する事項
- (2) 病院又は診療所薬局業務の近代化及び合理化の普及に関する事項
- (3) 公衆衛生の普及指導に関する事項
- (4) 研究会、講演会、研修会等の開催、協力に関する事
- (5) 機関誌及び関係図書などの刊行に関する事
- (6) 関係諸団体との連絡に関する事
- (7) 病院又は診療所に勤務する薬剤師の身分向上に関する事
- (8) その他目的達成に必要な事項

第 3 章 会員

第 5 条 本会の会員を分けて正会員、特別会員及び賛助会員とする。

第 6 条 正会員は病院又は診療所等に勤務する薬剤師を以てする。

第 7 条 正会員は本会所定の会費を支払う義務を負う。

2 会費の額は総会で決める

3 既納の会費は理由の如何を問わずこれを返還しない。

4 会員に本会の名誉を毀損し又は本会の目的趣旨に反するような行為があったときは、総会の決議を経て除名することができる。ただし、総会は議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

第 8 条 特別会員は転退職等により正会員の資格を失ったもの及び上記に該当しない薬剤師であって、本会の目的に賛同したもので、総会において定める会費を納入する個人とする。

第 9 条 賛助会員は本会の目的に賛同し、会費年額 30,000 円を納める団体又は個人とする。また、その資格により、当会の開催する研修会への参加を許可するものとする。

第 10 条 本会に名誉会長及び名誉会員を置くことができる。

- 2 名誉会長は本会に特に顕著な功績のあった会長のうちから総会の承認を経て決定する。
- 3 名誉会員は本会に特に顕著な功績のあった会員のうちから総会の承認を経て決定する。

第4章 役員

第11条 本会に次の役員を置く。

会長 1 名、副会長 3 名、常任理事・理事若干名、監事 2 名

第12条 会長は本会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会務を掌る。
- 3 理事は会長及び副会長を補佐し、会務を分掌する。
- 4 監事は会務及び会計を監査する。
- 5 監事は毎年その監査の結果を総会に報告しなければならない。

第13条 会長、監事及び日本病院薬剤師会代議員は正会員のうちから、総会において選出する。

- 2 副会長、常任理事及び理事は会長が正会員のうちから指名する。

第14条 役員の任期は2ケ年とする。但し、再任を妨げない。

- 2 補欠により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 役員は任期終了後も後任者が就任するまではその職務を行う。

第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は役員会の承認を経て会長が委嘱する。

- 2 顧問の任期は委嘱した会長の在任期間とする。

第5章 会議

第16条 会議を分けて、総会及び役員会とする。

第17条 総会は通常総会及び臨時総会とする。

- 2 通常総会は毎年1回、会長が招集する。
- 3 会長は必要があると認める時は、臨時総会を招集することができる。

第18条 総会は正会員及び特別会員の3分の1以上が出席しなければ開会することができない。

第19条 やむを得ない理由のため、総会に出席できない会員はあらかじめ他の会員を代理として表決を委任することができる。この場合において表決の委任者は総会に出席したものとみなす。

第20条 総会の議長は正会員中より選出する。

- 2 総会の承認及び決議は出席の過半数による。可否同数の場合は議長が決める。

第21条 総会においては本会則に別に定めるもののほか、次に掲げる事項を附議する。

- ① 庶務及び会計に関する報告の承認
- ② 事業に対する計画及び報告の承認
- ③ 予算の決定及び決算の承認
- ④ その他の会長が必要と認めた事項

第22条 役員会は会長が随時必要な場合にこれを招集し、その議長となる。

- 2 役員会は半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 役員会の決議は出席者の多数決をもってする。可否同数のときは、議長が決める。

第6章 会計

第23条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

第7章 会則の変更

第24条 会則の変更は総会の議決を要する。

第25条 本会則に定めてない事項は、役員会において協議決定する。

附則

この会則は、昭和54年12月15日から実施する。

附則

この会則は、平成5年5月30日から実施する。

附則

この会則は、平成7年6月4日から実施する。

附則

この会則は、平成9年5月26日から実施する。

附則

この会則は、平成10年5月24日から実施する。

附則

この会則は、平成21年4月1日から実施する。

附則

この会則は、平成24年6月2日から実施する。

附則

この会則は、平成25年6月1日から実施する。

附則

この会則は、平成27年6月7日から実施する。

附則

この会則は、令和7年6月7日から実施する。

各分科会、委員会、ワーキング活動費規約

分科会・ワーキング(WG)・各種委員会が企画する研修会、定例会議等にかかる予算等の規定を以下に示す。

原則、開催前に企画書を県病薬事務局へ提出し、内容の妥当性を確認した後に開催可否を決定する。

- ・ 一回の研修会にかかる費用について（会場費、講師謝礼金、交通費・宿泊費 等）
合計 25 万円を上限とする
※すべての費用について領収書の提出が必須
- ・ 講師謝礼金について
県外講師：3 万円、県内講師：1 万円（例外なし）
※職歴・職種等によつての金額変更は認めない
- ・ 講師宿泊費用について
開催費用内（25 万円）で収まれば部屋のグレードを上げることは妨げないが、一泊あたりの費用は上限金額以内とする（ツイン、ダブル等も可）
上限金額： 15,000 円／泊
- ・ 航空券の座席について
座席のグレードアップは認めない（プレミアムクラス、クラス J 等は禁止）
- ・ 航空券の種別について
開催費用内におさまれば変更可能なチケットを認める
※航空券の変更に伴うキャンセル料・手数料などが発生しないように心がける
- ・ 製薬企業との共同開催について
原則、分科会の単独開催を推奨するが、共同開催を妨げることはしない
製薬企業との折半開催の場合、費用負担に関しての自由度を認める
県病薬が何を負担するかは共催企業との話し合いで決定してよいが、県病薬の支払い分に関しては県病薬規定に従うこととする
- ・ 会場費用について
使用料が発生する会場（ホテル宴会場等）を使用した場合は開催費用に含めるが、薬剤師会館を使用した場合は 25 万円の開催費用に含めなくて良い（会場費は県薬からの病診部会費より支出）
- ・ 参加費等の徴収を行った場合の対応について
専門単位で徴収したもの、非会員の参加費徴収等の費用徴収があった場合は、県病薬会計へ返納する
参加費の徴収をしない研修会開催を原則とする
- ・ 研修に必要な資材費用に関して
研修に必要な資材に費用が発生する場合、その資材費は開催費用に含めて行う（参加者より徴収する場

合はこの限りではない)

- お弁当を準備しての研修会の開催可否について
認めない
薬学部長期実務実習合同発表会で昼をまたぐ開催の場合、参加者用の食事は許容する
- 研修会後の懇親会の設定について（ビュッフェ形式等）
開催費用内に収まれば認める
- 専門単位の申請について
必須事項とする
※専門単位の無い領域の研修会についてはこの限りではない
- 講師謝金の支払い方法について
事務局からの銀行振り込みとする
- 一般講演演者の謝金について
一定時間以上の講演であれば謝礼を認めるが、謝金も開催費用に含める
講演時間： 10 分以上
金額： 3,000 円
- 演者の交通手段としてのタクシー等利用について
上限以内での利用を認める（領収書で清算とし、お車代として現金交付することは不可）
上限： 10,000 円 ※開催費用（25 万）に含める
- 懇親会（別席）の規定について
参加者が限定される会への補助は認められない
参加自由な懇親会に限り補助を支給（上限 10,000 円）
講師の参加は必須、全額の領収書の提出必須
- 分科会会議における会議費補助規定（お茶代）
分科会メンバー全員へ招集をかけた会が対象で、限定されたメンバーでの集まりの打合せの場合は認めない
参加者人数 × 500 円 のお茶代の支給が可
※多少の予算超過は認める（人数誤差等）
※領収書・芳名録（可能であれば議事録）の提出必須
- 分科会の会議形式について
原則、リモート会議を推奨とするが、必要に応じて集合形式の会議も認める
- 講師へのお土産について
開催費用での計上は認めない
- 非賛助会員企業との共催について
認めない
単位なしであれば開催は可能。ただし、その場合の開催費用の支給は不可
- ワーキング活動：参加制限無しの企画については分科会と同様に活動費が支払われる
参加者制限ありの活動については最低限の施設使用料が支給可能（年間を通しての少人数での研修）

その他

今後の開催頻度、使用予算等を踏まえ、定期的に規定の見直しを行う。

附則

この規約は、令和４年６月５日から実施する。

附則

この規約は、令和７年６月７日から実施する。